

Chromebook の返却時処理手順書

みなさんが使用している端末は返却後に次の利用者へと渡ります。次の利用者が気持ちよく利用できるような以下の手順で返却時の処理をしてください。リンク先は一覧で QR コードにしてあります。

手順概要

返却手順を進める前に端末の充電を行い、バッテリー残量を 90%以上にしてください。

- 1 Chromebook 本体を Powerwash する。(端末を初期化する)
- 2 長期保管するために端末保管モードにする。
- 3 Chromebook 本体をクリーニングする。
- 4 必要であれば Google アカウント(@edu-g.gsn.ed.jp)に保存された各種データを移行する。
(データを引き継ぎたい卒業生のみ対象です。端末入替の在校生は新しい端末で同じアカウントを用いてログインすることで Google ドライブ内のデータは継続して利用いただけます。)

作業手順 1

Chromebook 本体を Powerwash する。(端末を初期化する)

- ① Chromebook の電源を入れ、ログアウトした状態にする。
- ② 「Ctrl キー」と「Alt キー」と「↑(shift)キー」と「R キー」を同時に長押しする。
- ③ 画面が一度暗くなり、リセット画面に遷移したら「Powerwash」をクリックする。
「再起動」と表示された場合は、再起動実行後に「Powerwash」をクリックする。
- ④ 「Powerwash の実行を確認」の画面で「実行」をクリックする。
「Chromebook へようこそ」のメッセージが表示されたら完了。

- ・この操作で Chromebook 内のダウンロードフォルダを含む、ハードドライブ上のデータがすべて消去されます。
- ・詳しくは、Google のページをご覧ください。※QR コード1

作業手順 2

長期保管するために端末保管モードにする。

- ① 充電ケーブルを接続した状態で、電源を入れる。
- ② 「更新キー(時計回りの矢印が印字されたキー)」と「電源キー」を同時に押して電源を落として、そのキーを押したまま電源ケーブルを抜く。
- ③ 電源が正常にオフになれば、電源キーを押しても電源がオンにならないはずなので、もし電源がオンになる場合は、やり直す。

- ・返却された Chromebook は、次の利用者が利用するまで長期間保管する必要があります。
バッテリーが消耗している状態で、そのままにしておくと起動しない等の不具合が生じます。
- ・詳しくは、Google のページをご覧ください。※QR コード2

作業手順3

Chromebook 本体をクリーニングする。

- ① よく絞った柔らかい布等を使う
- ② 汚れがひどい場合は、水で薄めた中性洗剤を使う。(洗剤が残らないように拭き取る)
- ③ キートップの隙間の埃はブラシ等で取り除く。
- ④ 液晶ディスプレイは、表面を傷つけないように注意しながら、ゆっくりと拭き取る。
- ⑤ かたい布やタオル、ペーパータオルは使用しない。

・県立学校に導入されている Chromebook は、ある程度の防水性能がありますが、精密機械ですので丁寧にクリーニングしましょう

作業手順4

必要であれば Google アカウント (@edu-g. gsn. ed. jp) に保存された各種データを移行する。

下記の方法を選択し、QR コードより手順を確認してください。

方法1 Google アカウントのデータを、パソコンなどの端末にダウンロードして保存する。

※QR コード3

方法2 Google アカウントのデータを、個人の Google アカウントに移行する。

A パソコンを利用して作業する。 ※QR コード4

B スマートフォンを利用して作業する。 ※QR コード5

- ・作業期間は2月上旬～5 月末までです。6月以降は卒業生のアカウント情報は削除されます。
- ・必須の作業ではありませんが、アカウントが削除されることで GoogleDrive 内に保存されている在学中のファイルやメールはすべて削除されます。

QR コード一覧

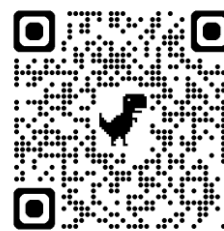
QR コード 1



QR コード 2



QR コード 3



QR コード 4



QR コード 5



参考：画像付き手順書
※学校 Wi-Fi からのみ閲覧可

